

平成23年度 1級舗装施工管理技術者試験

一般試験解答試案

問 1	4	問16	2	問31	1	問46	3
問 2	4	問17	3	問32	4	問47	1
問 3	2	問18	2	問33	3	問48	4
問 4	1	問19	3	問34	2	問49	2
問 5	3	問20	1	問35	4	問50	3
問 6	4	問21	4	問36	1	問51	$\frac{2}{3}$ ※
問 7	3	問22	1	問37	3	問52	4
問 8	1	問23	3	問38	2	問53	3
問 9	2	問24	2	問39	4	問54	$\frac{1}{3}$ ※
問10	4	問25	3	問40	2	問55	4
問11	3	問26	1	問41	1	問56	2
問12	2	問27	4	問42	4	問57	3
問13	1	問28	1	問43	3	問58	2
問14	2	問29	2	問44	1	問59	1
問15	4	問30	4	問45	2	問60	4

コメント
参照

コメント
参照

※解答についてのコメント

- 問51 (2) 表層の基準高さについては、10個の測定値の平均値が合格判定基準を満足しなければならない。としているが、高さ及び幅については、平均値ではなく、個々の測定値がそれぞれ合格判定値以内になければならない。不適当。
- (3) 上層路盤の厚さは、個々の測定値が10個に9個の割合で合格判定基準を満足しなければならない。一としているが、かつ、その10個の平均が合格判定基準を満足していなければならない。不適当。
- 問54 (1) 建設業の事業者は、常時100人上の労働者を使用する事業場ごとに、安全委員会を設けなければならない。としているが100人は50人の誤り。不適当。
- (3) 建設業の事業者は、常時50人以上の労働者を使用する舗装工事の事業場には、統括安全衛生責任者を置かなければならない。一としているが、統括安全衛生責任者は、50人以上（圧気、トンネル、一定の橋梁工事は30人以上）の元請・下請け混在現場に置いて、元方事業者が設置する者である。設問は元請・下請け混在現場としておらず不適当。

■その他、当方の解釈ミスによる誤答があるかもしれません。本解答はあくまで当社の試案ですのでご了承下さい。また、解釈、解答当でお気づきの点があれば、FAX・メール等でお寄せ下さい。公開させていただきます。

事務局



東北技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-26 ネオハイツ勾当台
(TEL) 022-738-9312
(FAX) 022-738-9365